

1) 適者生存の時代を「勝ち抜く」24年度経営計画のつくり方と実績を出す point

はやぶさ2・643号 2024年03月22日(金)

\* 厳しい企業間競争でも「勝ち抜く」手立ては無限にあります、

それを活用できるのは、求めた「人」のみが実現するのです。

%company%

%free1%

%free2%

%name\_sama%

**【4回シリーズの流れ】**

【済】◆第1回 適者生存のセオリーとスラップ&ビルド (S&B)

【済】◆第2回 個客の時代・共感者にいかに会うか

◆第3回 従業員を含むステークホルダーに「共感」を持ってもらうには

◆第4回 正しいビジネススコア（経営会計）で考働する習慣を体得する

~~~~~

◆◆第3回 従業員を含むステークホルダーに「共感」を持ってもらうには

**【1】 3つのNo.1がないと「勝ち残れない」・・・LittlejBis企業・中小企業においては・・・**

\* 生き残るには、他の競争相手に勝る「差別化 point=特長」がないと敗北しますので、それを持つこととなります。

その3つとは

- 1) 地域・業界No.1の商材・サービスがある
- 2) 人時生産性（一人当たり営業利益）を地域・業界No.1を実現する。・・絶対条件＝経営目標
- 3) 従業員満足度（ES）をNo.1にして、参画型経営を実戦して経営者マインドを高める。

と、前回＝641号でお話ししましたが

642号では「人時生産性＝1人当たり営業利益」について更に詳しく説明しました。

今号＝643号では、「従業員満足度（ES）をNo.1にして、参画型経営を実戦して経営者マインドを高める。」ことが、「**持続と進化**」のpointなのですが、経営技法中心の経営コンサルでは、むしろ不効率と考える傾向があり、人財を育てることが「後回し」にされるのです。

\*このことは、彼の「松下幸之助」が、「**人づくりが、企業経営の根幹**」と明言している事でも、経営の基本で在ることは、明らかなのですが、中々受止められないのが残念です。

◆そろそろ、本題に入りましょう。

1) 従業員は、なぜ勤務して企業で働くのでしょうか？

・それは、自分と家族を養うためです。

そして、子孫を残し「**生命＝魂**」を繋いでいくのです。

2) 更には、自分の「**実現したい使命**」を貫きたいとする希求を、「**魂**」が求めているのです。

「マズローの欲求5段階説」の最高位のレベルの欲求より、もう少し上位のレベルかもしれません。

\*そのことを「**自覚**」できた方は、「**悟性**」の境地にあると観じています。

企業経営は、自分一人でできません。

このことを自認できない方は、企業経営をしてはなりません。

littleBiz 企業では、最大のパートナーは「従業員」の共感なのですが、ビジネスの効率を超えて、

その人々の「幸せ」をいつも考えていますか？

もし、そのことを考えずに「企業利益」を求めらば、それは「偽善」なのです。

- 4) 従業員満足度（ES）は、「生活を守る、経済的保障」と「自己実現の達成観」のバランスであり、絶対的は数字の高さではなく、従業員の「共感や喜びが湧くか」の認識が従業員の「参画意識」を觀じ自分の考働が「役立っている」との自己認識が「勇氣とやる氣」を呼び起こし、周りの人々を感化していくのです。

そうなった、企業体（チーム）はタフです。

様々の試練を乗り越えて、変態脱皮して「進化・発展・持続」でき、ステークホルダーの人々も「幸せ」にするのです。

- 5) そのためには、従業員に「経営に参画」させて、状況に応じた「現場主義」での実行権限を委譲して考働する習慣を企業文化とすることが、従業員や経営幹部を啓育するのです。
- 人財の育成には、経営者の「愛情と時間」と「情熱」＝経営者の器＝が「全て」であり「コマ型企业論」のとおりなのであり、「原理＝セオリー」なのです。

~~~~~再 論~~~~~

★人時生産性（1人当たり営業利益）は、全社・部門別・案件別の必要利益を最適化する企業活動であり、「収益力」を測定する経営指標であります。

「利益」がなければ、従業員の生活を向上させる労務費の負担も、生産活動のための設備投資、販売活動も商品開発や人財投資等の次世代へ進化・変態脱皮する「経営資源＝人・モノ・金・“しくみ”・情報」を蓄え強化することはできないのです。

\* 営業利益の算式は（科目は概論ですが・・・・）

★前号、642号では算式が文字化けして、理解しづらかったですのでお詫びを兼ねて再掲いたします。

^^^^^^^^^^^^^^^^ 算式の解説 ^^^^^^^^^^^^^^^^^

**売上総利益**＝売上高 － 売上原価

\* 売上原価＝仕入原価 ＋ 外注費 ＋ 製造原価

＝労務費・設備償却・直接経費等

**営業利益**＝売上総利益 － （販売・管理費）

\* 販売費＝営業費（MR/活動費）・物流費・営業員人件費

\* 管理費＝建物・PC系設備・電話代・水道光熱費

・取締役報酬・事務員人件費・各種保険等

^^^^^^^^^^^^^^^^

★経営計画の実務においては

1) 「**売上基本計画**」部門別・カテゴリ別・案件別に策定することになります。

2) 課題毎の解決手順・実行計画を「**推進管理表**」の“見える化”します。

この2点は、「**収益性**」UPに非常に大事なpointですが、ZOOMセミナーや講座で解説とOJTいたしますので、セミナー&講座をご期待ください。

あるは、お急ぎの時は

\*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

\*経営計画の策定におい部門別にては、この「人時生産性」を高める施策が最大のpointに

なり、各部門別に策定し実行計画を立てることになります。

\*641・

執筆：(株)I&C・HosBiz センター はやぶさ編集長 岩下 一智

ご愛読ありがとうございました。

次号は ◆第4回644号 正しいビジネススコア（経営会計）で考働する習慣を体得する

### 1) そのための、3つの「基本=セオリー」を実戦する

3つの進化・発展の条件・・・企業経営にも「GD4つのテーゼ」が働いています。

- 1) 先祖・創業の理念を大事にしている
- 2) 存在理念・経営理念が企業文化として全社に浸透している
- 3) 全員参画型で経営者マインドが体得できており、現場で実戦できる

を再論してお届けいたします。

どうぞお楽しみに！

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍

渋沢栄一翁の 合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

\*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

~~~~~ZOOM セミナーの予告~~~~~

## 【告知】 Zoom セミナー

「理念経営道実戦セミナー・シリーズ」開催

**あなたが、実現したい「夢とテーマ」が「世のため・人のため」に  
なるのであれば、必ず「実現」します。**

**求めよ！さらば与えん！！**

**\*\*今回の解説を、ZOOM セミナーで詳しく説明いたします\*\***

**努力はウソをつきません。**

### ■テーマ：

適者生存時代の3つの条件と経営計画書の策定と運用の point

- ① オリジナルの企業文化がある
- ② その文化が、言葉として「存在理念・経営理念」になっている
- ③ 全員参画型で「経営計画」を推進している（上記①②の実戦）

### ■日時： のち後、改めてご連絡いたしますが

- ① 1単位の講義時間は、**講義80分・Q&Aを入れて90分**を予定しています。
- ② 完全に理解していただくには、**6回のシリーズ**を想定しています。

★ オリエンテーション・ZOOM セミナー（無料）を45分で行いますので、

改めて「はやぶさ」にて日時はご案内申し上げます。

■料金等は：後程ご案内申し上げます。

・・・経営者・経営支援家・学生（専門・大学）で料金と受講料金が変わります。

\*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしく申し上げます。

第 644 号 24・03・29（金）にお送りいたします。

◆第 4 回 正しいビジネススコア（経営会計）で考働する習慣を体得する

\*ZOOM セミナーの詳細をご案内いたします。

なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50 年の経営支援家人生の集大成 第 1 弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

---

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

\*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は



メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC